ふわふわ!!あったかい~

~見て・聞いて・触れ合って~ 命の大切さを考える動物愛護教室を開催



動物との接し方を学ぶ生徒たち

中央小学校で高学年の児童 27 人を対象に「動物 愛護教室」が開催されました。静岡県動物保護協会 の指導員、山崎英朝さん他数名を講師に迎え狂犬病 やマダニ、寄生虫の危険性と予防方法など、動物の 病気と健康維持のための説明を受けたのち、実際に 犬と触れ合い動物との安全な接し方について学びま した。参加した犬は、訓練により動物保護協会の基 準を満たし、介護施設などでも活躍する動物愛護ボ ランティアの飼育犬数頭で、初めは緊張気味の子ど もたちでしたが徐々に緊張も解け、犬もリラックス して寝転ぶなど打ち解けていました。

地域発展と観光振興の功績称えて

町まちづくり観光協会前田孝一会長と土屋和明事務局長が町長を表敬訪問



笑顔を向ける前田会長(中央)と土屋和朔事務局長(右)

6月13日、静岡市で行われた県観光協会主催の 観光功労者表彰式で、観光産業の発展に寄与したと して、本町まちづくり観光協会(会長前田孝一さん) が団体の部最高賞の「ふじのくにしずおか観光大賞| を受賞しました。

同協会は、大井川鐵道株式会社と連携した星空列 車やキャンプ場の魅力発信に努め、地産地消による 消費拡大やメディア対応を強化し、町の観光振興に 尽力してきました。

この日、受賞の報告に役場を訪れた前田さんは「地 道な活動が実を結んだ。解決したい課題も多いが着 実に取り組んでいきたい と決意を話しました。

熟している実を選んで収穫

本川根中学校の生徒がブルーベーリーの収穫を体験



家族に持って帰りたいと夢中で収穫する生徒たち

農業を通した地域交流学習の一環で、本川根中学 校の生徒がうえまる農園 (奥泉区) でブルーベリー の収穫を体験しました。

この日、生徒たちは無農薬で栽培されたブルーベ リーを2人組みで収穫。腰に付けたカゴに生食用と ジャム用に分けて摘み取っていきました。農園を管理 している上田まり子さん(奥泉区)から味見をしてご らんと声を掛けられると、生徒たちは我先に頬張って

1年生の中村陽瑠斗さん(千頭東区)は「たくさ ん収穫できて大満足です。凍らせてシャーベットに したい」と笑顔で話しました。

さらなる品質向上を目指して

7/5

「川根茶」の味や香りなどの出来栄えを審査する町茶品評会を開催

町農林業センターで町茶品評会が開催されました。 この日、生産者から集まった12点が審査され、 手摘みの部では相藤園の相藤令治さん(藤川区)が、 機械摘みの部では丹野園の丹野浩之さん (水川区) がそれぞれ優等を受賞しました。

審査長を務めた農研機構金谷茶研究拠点の水上裕造 上級研究員は「出品された茶には生産者の思いや努力 の成果が見られ、山のお茶らしい良品が今年も出そろっ ていた」と評価しました。

その後、生産者と審査員とで茶の生産や製造技術向 上のための意見交換会が行われ、活発な議論が交わさ れました。



お茶の外観や味、香りを厳正に審査する



「町の自然資源を活かした地域観光事業」に取り組んでいる(一社)エコティかわね。 今月はカヤックや散策でガイドを務めている芦沢哲哉さんにお話を聞きました。

「観光」ではなく「感幸」「お客様」から「交流人」に

私たちエコティかわねのメンバーは、それぞれの趣味や 特技を活かした、多様なプログラムを提供させていただい ております。そこで目指しているのは、「観光」ではなく「感 幸」です。お客様に幸せを感じてもらえるおもてなしの提 供は当然ですが、実はお客様が感動している姿や言葉から、 私たちも幸せをいただいています。

私は主にカヤックや地域散策ガイドをしていますが、お 客様から「空気が美味しい」「癒される」「すごく楽しい」「景 色がきれい」など心地いい声をいただきます。この町では 何でもないことが、お客様からの言葉でそうではないのだ と気付かされ、幸せな気持ちになるのです。

プログラムの参加者は、リピーターとなってくれるお客 様も多くいます。季節ごと何度も来てくださる方、別のプ ログラムに複数参加してくださる方など顔なじみになる方 も多いです。中には個人的に SNS 上で交流をしてくださ ったり、当法人の SNS アカウントの投稿に、親しく何度 もコメントしてくださったりする方もいます。

これからも「感幸」と体験を通じて、お客様に町のファ ンに、あるいは交流人になっていただけるよう頑張ってい きたいと思います。



☎(58)7000 FAX (58) 7001 Eメール: ecotkawane@gmail.com





